

20241201 「罪からの救い主、イエスの誕生」

マタイ 1:18~25 牧師 中谷美津雄

<導入>

今日は待降節第1主日、教会暦としては、週報に書いた通り、この日から新しい年が始まります。何故この日から新年を始めるのか不思議な感じがしますが、人の歴史は救い主イエス・キリストを迎えることで新しくされたことを記念するためかも知れません。

<転移>

英語で歴史は「History」ですが、これは、「His Story」「彼の物語」の合成語だといわれたりします。彼とはイエス・キリストです。いかにも語呂合わせの感じですが、イエス・キリストの物語が歴史だというのは、面白く、且つ、聖書的でもありますね。

キリスト中心の歴史観

今年は2024年ですが、ご存知の通りこれは、イエス・キリストの誕生年から数えて2024年と言うことです。これを「A.D.2024年」と書いて、日本では「西暦」と言っていますが、それは、「ラテン語 Anno Domini」の略語で、「主の年の」と言う意味ですから、本来は「主暦」、「キリスト暦」と訳すのが正しいのです。しかし、イエス・キリストを主なる神と認めない人々が、西洋の暦と言う意味で「西暦」としたのでしょう。

「B.C.」は英語の「Before Christ」の略語で「西暦紀元前」と普通訳しますが、これも、「キリスト以前」、「キリスト誕生以前」、「キリスト紀元前」です。

つまり、イエス・キリストの誕生によって、歴史を二つに分けたのが西暦ですから、歴史を「His Story」というのも分かりますね。

聖書的な歴史観

聖書はイエス・キリストの誕生を分岐点にして、旧約聖書と新約聖書の二つに分かれています。旧約聖書にはイエス・キリストについての預言が記され、新約聖書にはその預言の成就が書かれています。ですから、イエス・キリストは聖書の歴史の主人公だと言えます。

今日の聖書箇所には、イエス・キリストの誕生の預言の一つ、預言者イザヤによる処女降誕の預言の成就について書かれています。今日はここから罪からの救い主、イエス様の誕生について学び、礼拝しましょう。

<本論>

1. イザヤによる処女降誕の預言

旧約聖書はイエス・キリストについての預言の書物だと言いましたが、一番古い預言がなされたのは、人類の始祖アダムとエバが天地万物の創造者である神様に背いて罪を犯した直後のことでした。創世記3章に記されています。それ以来人々は、神様が与えると約束された罪からの救い主の到来を待望しながら、言わば、待降節の期間を歩んできたと言って良いでしょう。

神様もその間、数多くの預言者たちを起こしてご自身の御心を伝えてくださいましたが、中でもイザヤは救い主について、その誕生や働き、罪からの贖いの死と栄光などについて、種々の預言をしました。今朝の箇所はイザヤが告げた救い主の誕生に関わる預言の中でも、処女が身ごもって罪からの救い主を生む、いわゆる処女降誕の不思議な預言した箇所、それがイエス様の誕生によって成就したとマタイは記しています。

2. 聖霊による受胎

18、19節にあるように、ヨセフとマリアは婚約中でしたが、まだ一緒にならないうちに、マリアが身ごもったことをヨセフは知って、悩んだ末にひそかに離縁しようと思いを巡らしていました。

18節には「聖霊によって身ごもっている」とありますが、それはマリアから聞いたのでしょうか。しかし、ヨセフはそんなことは信じられませんでした。処女降誕について、人々が「そんなことはあり得ない。非科学的で信じられない」と、頭っから否定したとしても、マリアの婚約者であったヨセフでさえ信じられなかったのです。

しかし、現代では、信じられない不思議なことが、科学の力でできるようになって来ました。今から12年前の2012年に京都大学医学部の山中伸弥教授がノーベル医学・生理学賞受賞を受賞しました。受賞の理由は人の皮膚細胞を使って万能細胞と呼ばれる細胞の一つIPS細胞を作ることによって成功したことでした。これによって様々な組織や臓器を作ることが可能になりました。

「IPS細胞を使った再生医療の研究開発は加速していて、パーキンソン病や脊髄損傷、…心不全、…加齢黄斑変性や角膜移植、…血小板

減少症などで、臨床試験が開始または予定されています。」

10年とちょっと前まで科学的に信じられなかったことが、今は科学的に可能になっているのです。

であれば、天地万物の創造者、いのちを創造された全能の神様にできないことはありません。罪人を救うために必要と判断されれば、処女を通して罪のない特別な人を世に送り出すことも可能です。

そうは言っても、それは私たち人間にはとてもあり得ない、信じがたいことです。何百年も前に預言者を通してご自分の計画を伝え、教えておられました。その神様の計画を、処女マリヤが聖霊によって身ごもり、男の子を産むことによって実現したのです。22、23節を読みます。

22 このすべての出来事は、主が預言者を通して語られたことが成就するためであった。

23 「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。

イエス・キリストがお生まれになるよりも 800 年ほど前にイザヤを通して語られた預言です。天地万物の創造者であり、人間の歴史を支配し導いておられる神様、人類の始祖アダムとエバが墮落して罪を犯してしまった直後に、救い主を与えると約束されたお方が、罪人を救うご計画をこのようにして実現してくださったのです。

同じように、神様は私とあなたの人生にもご計画を持っておられます。一人ひとりの人生を祝福しようという計画です。そのために、神様は救い主イエス・キリストの許に私たちを導いてくださるのです。

3. イエス・キリストは罪からの救い主

21 マリアは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方がご自分の民をその罪からお救いになるのです。」

人間にとって、不幸の根本原因は罪です。

蟻は2本の角のような触覚を持っています。触覚はセンサーの役割を果たしていて、触れることによって人間の 40 倍も臭いや味を感じ取り、仲間と敵の違いを見分け、バランスを取るなどの役割を果たしているそうです。ですから触角を取ってしまうとぐるぐる回り続け、やがて動けなくなり死んでしまいます。

罪人は触角を取られた蟻にたとえることができます。いのち綱である触覚を、一体だれが取ってしまうような意地悪をするのかというと、それは外でもない自分自身です。誘惑にあったとき、自分の自由意思で神様が与えてくださった善悪を見分けて従おうとするのではなく、自分勝手に自分の好きなように行動してしまふ。罪をギリシャ語で罪はハマルティアと言いますが、その意味は、「的はずれ」です。神様の御心という本来の的を射る生き方をせずに、自分の考えや思いを的として自己実現を目指して歩むために、いつの間にか堂々巡りをしてしまうのです。

的はずれの心から出てくる言葉も態度も行動も神様と隣人を喜ばせるどころか、悲しませ、傷つけてしまいます。聖書は言います。「罪の報酬は死です(ローマ 6:23a)。」罪の解決がないまま生きてると、身体は生きていても、本当の意味では生きていない、魂は死んでいる、そんな風に思うことはないでしょうか。そして、罪を持ったままでは、身体も魂も永遠に滅びてしまうと聖書は言っています。

4. 主なる神の民とは

そうならないように、神様はイエス・キリストを送ってくださいました。イエス・キリストは「ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」と主の使いは預言しました。ご自分の民とはどんな人でしょうか。選民と言われるイスラエル人でしょうか。使徒 10:34~36

34 そこで、ペテロは口を開いてこう言った。「これで私は、はっきり分かりました。神はえこひいきをする方ではなく、

35 どこの国の人であっても、神を恐れ、正義を行う人は、神に受け入れられます。

36 神は、イスラエルの子らにみことばを送り、イエス・キリストによって平和の福音を宣べ伝えられました。このイエス・キリストはすべての人の主です。

これは使徒ペテロがローマ人の百人隊長コルネリウス一族に語ったことばです。異邦人であっても、主を求め、主の御前に遜っている者に対して、主イエス・キリストはえこひいきをすることのない、公平なお方であること、主はすべての人の主であることを確信して告白した言葉です。この後、ペテロはイエス・キリストの福音を語り、「この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる(10:43)」と言うと、みことばを聞き

ていたすべての人に聖霊が下ったので、パテロは彼らに「イエス・キリストの名によってバプテスマを受けさせた(10:48)」のでした。

5. 罪からの救い主イエス

神様はどのようにして私たちを罪から救ってくださるのでしょうか。救い主イエス・キリストを信じることによってです。

イエス・キリストは罪のないご生涯を送られ、十字架にかかって死なれました。それはご自分が罪を犯したからではなく、すべての罪人の罪を背負って罪人が受けるべき裁き、罪の罰を代わりに受けるための死でした。救い主キリストの贖罪の死についてもイザヤは 53 章で預言しています。イザヤ 53:1～6

53:1 私たちが聞いたことを、だれが信じたか。

主の御腕はだれに現れたか。

53:2 彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。

砂漠の地から出た根のように。

彼には見るべき姿も輝きもなく、

私たちが慕うような見栄えもない。

53:3 彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、

悲しみの人で、病を知っていた。

人が顔をそむけるほど蔑まれ、

私たちも彼を尊ばなかった。

53:4 まことに、彼は私たちの病を負い、

私たちの痛みをになった。

それなのに、私たちは思った。

神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

53:5 しかし、彼は私たちのそむきの罪のために刺され、

私たちの咎のために砕かれたのだ。

彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、

その打ち傷のゆえに、私たちは癒された。

53:6 私たちはみな、羊のようにさまよい、

それぞれ自分かってな道に向かって行った。

しかし、主は私たちすべての者の咎を

彼に負わせた。

イザヤが預言した通り、イエス・キリストは人々から蔑まれ、見捨てられて十字架につけられて殺されました。しかし、その死は私たちのそむきの罪、とがのために刺され、砕かれた死、罪人のための身代わりの死でした。その死によって、私たちは赦され神との平和、魂の平安を持つことができる。イザヤは預言しました。

その預言の通り、十字架に死なれたイエス・キリストを信じて罪を悔い改めた人々は魂に平安を与えられ、新しい人生を生きるようになりました。彼らの人生はイエス・キリストを信じて心に迎えたことによって、新しくされたのです。

だれであってもイエス・キリストを信じることで、人生を新しく生きることができるようになります。しかも、復活して永遠のいのちを与えてくださる主によって、永遠のいのちを頂くことができます。

「罪の報酬は死です。しかし、神のくださる賜物はキリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

信じて、罪の赦しと永遠のいのちを頂きましょう。